

〈2025年1月～6月実施〉

生命保険一般課程試験

試験問題【フォームD】

● 注意事項

1. 試験時間は40分です。

2. 試験問題は、全部で82問あります。《100点満点》

問題1から25は、語群の中から適切なものを選ぶ問題《各1点：25点満点》

問題26から30は、語群の中から適切なもの（数字・語句）を選ぶ問題《各2点：10点満点》

問題31から33は、誤っているものを2つ選ぶ問題《各4（部分点2）点：12点満点》

問題34から37は、誤っているものを1つ選ぶ問題《各2点：8点満点》

問題38から67は、正誤を選ぶ問題《各1点：30点満点》

問題68から82は、文章の中に入る適切なものを選ぶ問題《各1点：15点満点》

業界共通教育課程試験等のテキストおよび試験問題の取扱方針について

- ・業界共通教育課程試験、生命保険講座試験および継続教育制度（以下、業界共通教育課程試験等という）のテキストおよび試験問題（過去問題を含む）の著作権は、生命保険協会に属します。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）は業界共通教育課程試験等の教育および受験の目的にのみ利用するものとします。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）の一部または全部を無断で複写・複製・転載・頒布・販売すること、ならびに磁気または光記録媒体、コンピューターネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き固く禁じます。なお、生命保険協会が許可した場合または法律で認められた場合であっても、当該行為により生じた結果について、生命保険協会は故意または重大な過失がある場合を除き一切の責任は負わないものとします。

一般社団法人 生命保険協会

[生命保険の仕組み - ①]

文中の空欄 [1] ~ [2] に入る最も適切なものを選んでください。

生命保険は「一人は万人のために、万人は一人のために」という [1] の精神で成り立っているといえます。つまり、大勢の人々がお金を出し合って大きな共有の [2] をつくり、万一のことがあったときは、その中からまとまったお金を出して、経済的に助け合う仕組みです。

語群

- ア. 相互扶助
- イ. 公的扶助
- ウ. 準備財産
- エ. 預金口座

[生命保険の仕組み - ②]

文中の空欄 [3] ~ [5] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 数少ない経験では何の法則もないようなことでも、数多くの経験を集めると、一定の法則があることがわかります。これを [3] といいます。
2. [4] とは、ある集団（性別・年齢別）について [5] を観察し、人の生死の法則を表にしたものです。

語群

- ア. 自然の法則
- イ. 大数の法則
- ウ. 生命表
- エ. 乱数表
- オ. 損害率
- カ. 死亡率

[生命保険の種類 - ①]

文中の空欄 [6] ~ [8] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 死亡保険のうち、保険期間を定めているものを [6] 保険といいます。
2. 契約してから一定期間が満了するまで被保険者が生存していた場合にのみ保険金が支払われる保険を [7] 保険といいます。
3. 死亡保険と [7] 保険を組み合わせた保険が、[8] 保険です。

語群

ア. 定期
イ. 定額
ウ. 医療
エ. 終身
オ. 生存
カ. 生死混合

[生命保険の種類 - ②]

文中の空欄 [9] ~ [10] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 資産運用成果が期待できる反面、投資に伴うリスクも大きい変額保険は、その資産を定額保険の資産とは区分して運用する必要があります。そのため、会計上、変額保険の資産は [9] 勘定で運用されることになります。
2. 終身保険タイプの変額保険（終身型）は、一生涯の死亡保障があり、死亡・高度障害保険金額は資産の運用実績にもとづいて毎月増減しますが、契約時に定めた保険金額（基本保険金額）は保証 [10]。

語群

ア. されています
イ. されていません
ウ. 特別
エ. 一般

[契約の選択 - ①]

文中の空欄 [11] ~ [13] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 生命保険会社が契約を選択するにあたっては、次の3つの危険について、それぞれの危険度の大きさを把握することが大切になります。

- ① 身体上の危険
- ② [11] 上の危険
- ③ 道徳上の危険（モラルリスク）

2. 生命保険協会では、契約引受時のモラルリスク対策として、「[12]」や「契約内容照会制度」を管理・運営しています。

3. 契約の選択に際して、私たちは、契約者、被保険者に必ず [13] して必要な情報を収集し、知り得た事項を正確に生命保険会社へ報告しなければなりません。

語群

ア. 経済
イ. 環境
ウ. 面接
エ. 電話
オ. 契約内容登録制度
カ. 健康情報登録制度

[契約の選択 - ②]

文中の空欄 [14] ~ [15] に入る最も適切なものを選んでください。

生命保険会社が契約の選択を行った結果、個々の危険の性格や度合に応じて割増保険料や [14]、特定の疾病や部位の不担保などの条件を付けて契約することがあります。これを [15] 付契約といいます。

語群

ア. 交換条件
イ. 特別条件
ウ. 保険金削減
エ. 保険金割増

[社会保障制度 - ①]

文中の空欄 [16] ~ [18] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 公的扶助制度には、[16] にもとづき、生活困窮者への程度に応じた保護と最低限度の生活保障およびその自立を手助けする制度があります。
2. 社会保険は、保障の対象となる者は原則として全 [17] であり、保険料の負担は義務化されています。
3. 国民年金は、最も基本的な年金で、基礎年金として支給されます。基礎年金には老齢・障害・[18] の3つがあります。

語群

ア. 生活保護法
イ. 雇用保険法
ウ. 国民
エ. 就業者
オ. 遺族
カ. 介護

[社会保障制度 - ②]

文中の空欄 [19] ~ [20] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 健康保険および国民健康保険加入者の医療費の本人負担は、原則 [19] です。
2. 後期高齢者医療制度では、原則として [20] 以上の高齢者（および65歳以上で一定の障害があり、広域連合の認定を受けた人）が、給付を受けることができます。

語群

ア. 1割
イ. 3割
ウ. 70歳
エ. 75歳

[企業向け商品 - ①]

文中の空欄 [21] ~ [22] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 総合福祉団体定期保険

従業員（役員を含むことができる）の死亡または所定の高度障害に対して保険金を支払う、[21] 更新の全員加入が原則の定期保険です。

2. 企業年金保険

企業が従業員に対して、老後の生活の安定を図るために、退職後の [22] あるいは一定期間の年金支給に備えて積み立てるタイプの保険を企業年金保険といいます。

語群

ア. 1年

イ. 5年

ウ. 10年

エ. 終身

[企業向け商品 - ②]

文中の空欄 [23] ~ [25] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 経営者保険

経営者に万一のことがあった場合の経営上の [23] と遺族の生活保障、および経営者の退職金の準備などを目的として企業が一般の個人保険（財形商品を除く）を利用するものです。

2. 勤労者財産形成制度（財形制度）

[24] と企業が勤労者の資産の蓄積（教育・住宅・老後資金など）を積極的に援助する制度です。

3. 医療保障保険（団体型）

健康保険の本人一部負担制と保険給付対象外費用の増加などに対応し、[25] 保険制度の補完を目的とした企業（団体）向けの商品です。

語群

ア. 販売促進

イ. 損失補てん

ウ. 地方公共団体

エ. 国

オ. 公的介護

カ. 公的医療

【設計販売の基礎】

文中の空欄 [26] ~ [30] に入る最も適切なものを選んでください。
(同じ解答を複数回使用してもかまいません。)

次の計算式は、世帯主を勤労者である夫、配偶者（妻）は無収入の専業主婦とした場合の遺族生活資金の計算方法を表したものです。

【設定条件】

- 夫死亡時（40歳）の家族構成は、妻（36歳）、子ども2人（10歳、7歳）とします。
- 末子の大学卒業年齢は、22歳とします。
- 現在の月間生活費は、40万円とします。
- 家族の月間生活費は、現在の月間生活費の7割とします。
- 妻の月間生活費は、現在の月間生活費の5割とします。
- 平均余命表

年齢	男	女
50歳	33年	38年
51	32	37
52	31	36

年齢	男	女
53歳	30年	35年
54	29	34
55	28	33

（令和4年簡易生命表より）

1. 家族の生活資金 = $40 \text{ 万円} \times 0.7 \times 12 \text{ カ月} \times (22 \text{ 歳} - [26] \text{ 歳})$

2. 妻の生活資金の計算

①妻の平均余命を求める。

・ [27] 歳 + (22歳 - [26] 歳) = [28] 歳

・ [28] 歳時の平均余命 = [29] 年

②妻の生活資金 = $40 \text{ 万円} \times 0.5 \times 12 \text{ カ月} \times [29] \text{ 年}$

3. 遺族生活資金 = [30]

語群

ア. 6

イ. 7

ウ. 35

エ. 36

オ. 37

カ. 38

キ. 50

ク. 51

ケ. 家族の生活資金 + 妻の生活資金

コ. 家族の生活資金 - 妻の生活資金

31【私たちの役割と心がまえ】

次の文章のうち、誤っているものを2つ選んでください。

ア. 契約の締結時だけではなく、その後も、お客さまに適切なアフターサービスを提供していくことが大切です。

イ. 生命保険の販売活動には、預金保険法等の法的な規制があり、それ以外にも、所属生命保険会社が定める行動規範や販売活動に関するルールがあります。

ウ. 生命保険の販売にあたっては、顕在ニーズのみにもとづいてお客さまにアプローチすればよく、潜在ニーズを引き出す必要はありません。

エ. 生命保険の目的は、保険事故が発生したときの経済的な保障をお客さまに提供することです。したがって、生命保険会社には社会的な責任があり、私たち自身がその社会的役割の一翼を担っています。

32【資産の運用】

次の文章のうち、誤っているものを2つ選んでください。

ア. 生命保険会社は、契約者への保険料の還元（配当金の割り当て）をするために、積極的な資産運用をしなければならず、安全性に配慮する必要はありません。

イ. 生命保険会社の資産運用の対象となる有価証券には、株式、公社債などがあり、総資産の約8割をこの有価証券が占めています。

ウ. 生命保険会社の資産のうち、土地・建物などの不動産は、自社の営業用のものと投資用のものとに分けられます。

エ. 生命保険会社の資産運用の対象に貸付金は含まれません。

33 [相続の法律]

次の文章のうち、誤っているものを2つ選んでください。

ア. 法定相続の規定は、遺言に優先して実現させるという強い効力をもつていますので、法律で厳格な方式が定められています。

イ. 配偶者は常に相続人になります。ここでいう配偶者とは、内縁の場合には含みません。

ウ. 配偶者の他に子どもがいる場合は、配偶者と子どもが相続人になりますが、その法定相続分は、配偶者が $2/3$ 、子どもが $1/3$ です。

エ. 相続人が配偶者と兄弟姉妹の場合の法定相続分は、配偶者が $3/4$ 、兄弟姉妹が $1/4$ となります。

34 [保全・アフターサービス手続きと留意点]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 払済保険や延長（定期）保険に切り換えた場合、元の契約の各種特約部分は変更後、消滅します。

イ. 延長（定期）保険への切り換えの際、計算上の保険期間が元の契約の保険期間より短くなる場合には、その期間満了をもって契約は消滅します。

ウ. 保険料の負担を軽減するために、保険期間の途中から保険金額を減らすことを減額といいます。減額部分は、解約されたものとして取り扱いますが、解約返戻金があっても払い戻されません。

35 [生命保険の募集等に関する法律]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 危険職種にあたる職業の人に、加入制限があるので制限のない他の職種を告知するようにすすめることは、告知義務違反をすすめる行為として、保険募集に関する禁止行為とされています。

イ. 保険料の割引・割戻をすることや金品その他の利益を提供したり、提供することを約束するような行為は、特別の利益の提供として「保険業法」で禁止されています。

ウ. 「消費者契約法」は、消費者契約の対象を広くしていますが、保険契約は対象に含まれません。

36 [保険金・給付金の税法上の取り扱い（一時金で受け取った場合）]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 「契約者（保険料負担者）＝夫、被保険者＝妻、保険金受取人＝子」の生命保険契約で子が受け取った死亡保険金は、贈与税の課税対象となります。

イ. 契約者（保険料負担者）と保険金受取人が同一人の保険契約では、満期・死亡いずれの場合も、受け取った保険金は一時所得となり、所得税の課税対象となります。

ウ. 贈与税の課税対象となる金額は、年間の贈与額から基礎控除額（60万円）を差し引いた金額となります。

37【お客さまニーズへの対応】

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. お客さまの多様なニーズに応えるため、数多くの保険商品が販売されていますが、私たちは、お客さま一人ひとりの意向を正しく把握し、その意向に合った保険商品を適切な情報提供のもとに提案していく必要があります。

イ. 保険設計書によって経済準備の必要性をお客さまにはっきりと気づいていただき、またそれを解決する手段として、生命保険が非常に有効であることを説明することによって、さらに理解を深めていただき、そのための最適な保険商品を生活設計書によって提示します。

ウ. 設計販売をすすめていくためには、私たちは生命保険だけでなく、他の経済準備手段に関する知識にも習熟し、把握したお客さま意向に合った商品を提案し、意向を確認のうえ、申込みをいただくことが大切です。

38【生命保険の役割】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険は、病気や災害などによる死亡の場合の遺族の保障だけでなく、病気やケガに対する医療資金の確保や老後の生活を保障する方法、子どもの教育・結婚、住宅資金などを確保する方法としても利用されており、幅広い機能をもっています。

正

誤

39【生命保険の役割】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

現在では1世帯当たりの家族の構成人員が少なくなり、経済生活に必要な保障は自己の責任において準備すべきであるという自己責任意識はますます強くなっています。

正

誤

40 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

令和4年簡易生命表によると、男性・女性の平均寿命はともに90歳を超えています。

正

誤

41 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

各年齢者が将来平均して生きられる年数を「平均寿命」といいます。

正

誤

42 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

社会保障制度は、国民に一定水準の生活保障をするもので、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう、国などが社会政策の一環として実施する経済制度です。

正

誤

43 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料の払込方法（回数）には、月払、半年払、年払および一時払の4種類があります。

正

誤

44 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

一時払は保険期間の全保険料を一時に払い込む方法です。

正

誤

45 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

まだ払込期月がきていない将来の保険料の一部または全部をあらかじめまとめて払い込むこともできます。これを前納といいます。

正

誤

46 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

前納による払い込みの場合、保険料は保険業法の定める利率で割り引かれます。

正

誤

47 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料の払込方法(回数)については、途中で変更することはできません。

正

誤

48 [剩余金と配当金]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

剩余金が生まれる原因是、死差益、利差益、費差益の3つに分類されます。このうち利差益は、予定利率によって見込まれた運用収入よりも、実際の運用収入が多い場合に生じる利益です。

正

誤

49 [剩余金と配当金]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

無配当保険とは、3つの予定率（予定死亡率、予定利率、予定事業費率）すべてについて無配当用の基礎率を設定し、保険料を割り引く代わりに、剩余金の分配を行わない保険です。

正

誤

50 [剩余金と配当金]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険の配当金は、契約者から預かった保険料をもとに、生命保険会社が收支決算した結果生じた剩余金（余った保険料等）を、契約者に返すという性格のものです。

正

誤

51 [剩余金と配当金]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

有配当保険には、配当金の支払時期に応じて、毎年配当型、3年ごと配当型、5年ごと配当型などがあります。

正

誤

52 [剩余金と配当金]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

配当金の支払方法が、配当金を契約が消滅するまで、あるいは契約者から請求があるまで、生命保険会社に積み立てておく方法の場合、配当金は、保険業法の定める利率により複利で運用されます。

正

誤

53 [生命保険会社の仕組み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「保険業法」は、保険事業が健全に運営されることにより、生命保険会社等を保護するために定められています。

正

誤

54 [生命保険会社の仕組み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社の経営の健全性を示す指標として、「基礎利益」があります。

「基礎利益」とは、生命保険会社の1年間の保険本業の収益力を示す指標のひとつで、一般の事業会社の営業利益や、銀行の業務純益に近いものです。

正

誤

55 [生命保険会社の仕組み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社の経営形態には、「相互会社」と「株式会社」の2つがあります。このうち「相互会社」は、保険事業と銀行業だけに認められています。

正

誤

56 [生命保険会社の仕組み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「株式会社」では、生命保険に加入した契約者は、原則として社員となり生命保険会社の運営に参加することになります。実際には、社員の中から総代を選び、総代会で会社運営上の重要なことがらを決めています。

正

誤

57 [生命保険会社の仕組み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社は、生命保険以外の事業を自由に営むことができます。

正

誤

58 [保障の見直し]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「定期保険特約などの中途付加」では、現在の契約の保障内容を変えずに、死亡保障額などを増やすことはできません。

正

誤

59 [保障の見直し]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「追加契約」は、現在の契約はそのまま継続して、別の新しい保険契約に加入いただく方法です。

正

誤

60【保障の見直し】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「契約転換制度」による取り扱いを行う場合には、契約転換により、保障内容、保険金額、保険料などが全く新しく切り換わることを契約者に説明することが必要です。

正

誤

61【保障の見直し】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約転換の説明の際には、契約者に対し、転換前と転換後の契約に関する重要な事項を対比して記載した書面を交付するとともに、契約者には、この書面を受領し内容を了知した旨の確認（受領印の取付等）を得なければなりません。

正

誤

62【保障の見直し】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「契約転換制度」を利用する際の保険料は、転換前契約の加入時の契約年齢、保険料率により計算されることを契約者に説明することが必要です。

正

誤

63【隣接業界】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

J A共済の生命共済の種類には、民間の生命保険の終身保険や定期保険特約付終身保険に相当する終身共済などがあります。

正

誤

64【隣接業界】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

こくみん共済・各都道府県民共済は、いざれも農林水産省の監督のもと、組合員を対象に普及推進されており、原則として、無診査（告知扱い）で、大口の死亡保障のみで、各種特約はありません。

正
誤

65【隣接業界】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

少額短期保険業者が、生命保険の商品で取り扱えるのは、死亡保険・医療保険とも保険期間は3年以内です。

正
誤

66【隣接業界】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

損害保険は、火災や交通事故など偶然の事故による損害を補償するもので、火災保険・自動車保険などがあります。

正
誤

67【隣接業界】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

J A共済の年金共済は、原則として農協（JA）の組合員およびその家族の老後生活を保障することを目的としたもので、年金の種類には終身年金タイプと養老年金タイプがあります。

正
誤

68 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまには保険金・給付金を支払う場合や支払うことができない場合があることを、「ご契約のしおり」または「契約概要」や「[]」によってわかりやすく説明することが必要です。

ア. 注意喚起情報

イ. 意向確認書面

69 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまへの適切な保険金・給付金の支払いに向けて対応すべきことの一つに、日常の定期訪問活動により、支払事例等の情報提供をしながらお客さまに理解を深めていただくと同時に、保険事故が起こったときにお客さまが迅速に対応できるよう、すぐに行動できる手続き窓口等の [] もしっかりとお伝えしておくことがあります。

ア. 連絡先

イ. 最寄りの病院

70 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

保険料計算の基礎に使用している死亡率とはなはだしくかけはなれた高い死亡率を示すような死亡原因や、[] に反するような原因によるものに保険金を支払うことは、保険制度の健全な運営を妨げたり、善良な契約者の利益を害したり、あるいは社会一般の公益に反することになる場合があります。

ア. 習慣

イ. 公序良俗

71 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまへの適切な保険金・給付金の支払いに向けて対応すべきことの一つに、保険事故の発生の連絡を受けた場合、[] の定めた保険金・給付金の請求受付に関するルールに従って適切に対応することができます。

ア. 保険業法

イ. 生命保険会社

72 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

約款上、死亡保険金受取人が、[] 被保険者を死亡させたときは、「死亡保険金」を支払いません。ただし、その受取人が保険金の一部の受取人である場合は、生命保険会社は他の受取人に対してはその残額を支払います。

ア. 故意に

イ. 過失により

73 [契約取り扱いの手続き]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

契約者が未成年者の場合は、法定代理人（親権者または未成年後見人）の同意 [] です。

ア. は不要

イ. が必要

74 [契約取り扱いの手続き]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

保険料を求める場合、まず [] の生年月日から契約年齢を求め、次にその契約年齢をもとに、保険種類、保険金額などに応じた保険料を求めます。

ア. 契約者

イ. 被保険者

75 [契約取り扱いの手続き]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

契約年齢を求める方法として [] を使用する生命保険会社と、いわゆる「保険年齢」を使用する生命保険会社があります。

ア. 満年齢

イ. 数え年

76 [契約取り扱いの手続き]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

第1回保険料（充当金）領収証を書き損じたときは、[] することが必要です。

ア. 正確なものを新しく発行

イ. 訂正あるいは加筆

77 [契約取り扱いの手続き]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

新契約時の保険料が [] 以上のときは、第1回保険料（充当金）領収証に200円の収入印紙をはります。

ア. 30,000円

イ. 50,000円

78 [募集時の正しい説明]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

生命保険契約は生命保険会社と契約者との間でとりかわす約束ですが、この内容となるお互いの権利義務を規定しているのが [] です。

ア. 定款

イ. 約款

79 [募集時の正しい説明]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

「[]」は契約者に提供すべき契約内容に関する基本的な情報であり、契約の申込みを受けるときまでにお客さまに交付しなければなりません。

ア. ご契約のしおり

イ. 保険証券

80【募集時の正しい説明】

次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

「[]」はお客さまが保険商品の内容を理解するために必要な情報であり、商品の仕組み、保障の内容、付加できる特約等の概要、保険金額や保険料に関する事項などが記載されています。

ア. 意向確認書面

イ. 契約概要

81【募集時の正しい説明】

次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

「[]」はお客さまに対して契約時や契約後に注意を喚起すべき情報で、クーリング・オフ、告知義務の内容、責任開始期、保険金支払等の免責や保険料の払込猶予期間に関する事項などが記載されています。

ア. 注意喚起情報

イ. 生活設計書

82【募集時の正しい説明】

次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

私たちは、お客さまの目的や状況に応じた商品やサービスの提供をすること（[]にもとづく提案）に留意することが必要です。高齢者や未成年者に対する対応は特に配慮しなければなりません。

ア. 選択の自由

イ. 適合性の原則

copyright (c) The Life Insurance Association of Japan, All rights reserved.